

Java の最新バージョンへの変更について

地方税（法人事業税・法人県民税等）の申告において eLTAX を利用されている会員の皆様へのご連絡です。

現在、eLTAX の利用届出・申請届出の際に Java をパソコン等にインストールする必要があります。しかし、古いバージョンの Java を使用し続けることでコンピュータウイルス等に感染する危険性が高まります。eLTAX では、Java を使用せずに利用届出・申請届出ができるよう検討がされているところです。

つきましては、eLTAX における非 Java 化の実現までの間の対応として、以下のことにつきまして、実施していただきますようお願い申し上げます。

記

- 1 これまでに eLTAX を利用したことのある方は、お使いのパソコン環境を御確認の上、速やかに Java の最新バージョンへの変更、または Java のアンインストールを行ってください。
- 2 新たに eLTAX の利用届出・申請届出をされる方は、利用届出等の提出後、速やかに Java の最新バージョンへの変更、または Java のアンインストールを行ってください。
- 3 Java の最新バージョンへの変更、またはアンインストールを行った場合でも、eLTAX を利用した電子申告は可能です。
- 4 上記のことについては、平成 27 年 4 月 27 日に、各 eLTAX 利用者のメッセージ BOX に「地方税電子化協議会からのお知らせ」として配信もされていますので、メッセージ BOX をあわせて御確認ください。
- 5 Java の最新バージョンへの変更、または Java のアンインストールに関する手順については、eLTAX ホームページにマニュアルが掲載されていますので、参考にしてください。

マニュアル名：Java 実行環境（JRE）アンインストール・バージョンアップ手順書

掲載 URL：<http://www.eltax.jp/www/contents/1427971379939/index.html>